

美祢社会復帰促進センター

「再誕の丘」だより

「再誕の丘」とは

平成16年12月15日に、南野知恵子法務大臣(当時)が、美祢テクノパークを視察されました。

その折、かつて立ち並んでいた炭坑住宅が、美祢社会復帰促進センターに生まれ変わることになり、この施設で受刑者が社会復帰するために生まれ変わることを心から願ってこの丘を「再誕の丘」と命名されたものです。



目次：

- センター長年頭御挨拶 1
- 総括業務責任者年頭御挨拶 2
キャリアガイダンス参加について
- J2レノファ山口「美祢サンクスデー」の参加について 3
野菜収穫体験会
- 職業訓練「販売戦略科」ご紹介 4

美祢社会復帰促進センター長 年頭御挨拶



新年明けましておめでとうございます。

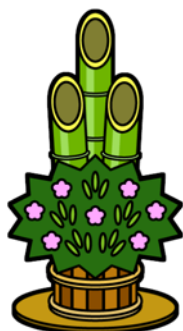
平素から当センターの施設運営に温かい御支援と御協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、コロナ禍が続き、特に夏以降はデルタ株感染の急拡大が深刻になるなど、当センターにおいても、コロナ対策に終始する厳しい一年となりました。

施設内に感染を持ち込まないよう厳重な水際対策を講じて、おのずと限界がある中、クラスターの発生を防止するために最も重要な施策はワクチン接種でした。一般社会でワクチン接種が進む一方、矯正施設の職員や被収容者のワクチン接種は、全国的に厳しい状況でしたが、当センターでは、職員のほとんどが8月初旬に、また、センター生も希望者全員が10月下旬に接種を終えることができました。

全国に先駆けてスピーディな対応ができ、難局を乗り切れたのは、美祢市及び関係医療機関の御支援の賜物で、地域の皆様に支えられていることを実感いたしました。美祢市長を始め御協力を賜りました関係者の皆様にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

当センターでは、「地域との共生」を重要な課題に掲げているところ、本年度は、「つながるレストラン」「みねマーケットプロジェクト」の取組の一環として、センター生が商品企画・製造したパンを豊田前地区の皆様に販売するイベントの開催を予定しております。こうした小規模なイベントから、感染状況が許せば、今年こそは矯正展や盆踊り大会など、地域の皆様をお招きした行事が実施できることを切に願っております。また、昨年は、新たに「販売戦略科」という職業訓練を開講し、東京の有名なデザイン事務所「(株)セイタロウデザイン」や美祢市と連携し、市の特産品のポスターを作成し、地域の創生に寄与させていただき取組を開始しました。



これからもセンター生の作業、職業訓練等の取組が少しでも地域の皆様の役に立ち、地域ぐるみで当センターを支えていただけるような、そんな施設を目指して取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き御支援・御協力のほどお願い申し上げます。

総括業務責任者 年頭御挨拶

あけましておめでとうございます。一昨年以降、コロナ禍により豊田前町の皆様とお会いできる機会が減ってしまい、残念至極です。ただ今秋の『豊田前菊花展もろもろ創作展』では、皆様の素敵な作品を拝見でき、その力強さや繊細さに励まされますとともに、皆様の元気なご活躍の様子をうかがうことができました。

年齢を重ねることは自然なことです。昨今流行りのアンチエイジングでは表面的な若さを強調する風潮にあります。ここ豊田前町におきましては、心の若さと豊かさを感じられる数多の方々がいっぱいいます。人生とは「善く生きることだ」と喝破したのはソクラテスですが、豊田前町には老賢者が多くいらっしゃいます。わたくしもそのような皆様を目標に精進したいと願っております。

本年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



キャリアガイダンスに参加させていただきました！



10月に青嶺高校へ行き、キャリアガイダンスに参加させていただきました。

ガイダンスではパワーポイントを使用しながら、刑務官の勤務形態や仕事内容についてだけでなく、受刑者との関わり方等についてもお話をさせていただきました。

話を聞きながらメモを取ってくださり、「受刑者と接する上で心掛けていること」や「仕事で大変だと思うこと」など沢山質問をいただき、刑務官の仕事に興味を持って質問してくださっている姿に大変感激しました。

今回のガイダンスを通じて、皆さんの将来の選択肢を広げるお手伝いできていれば嬉しく思います。

沢山の職種がある中お声掛けいただきありがとうございました。心より御礼申し上げます。

J2レノファ山口「美祿市サンクスデー」開催！



令和3年9月11日（土），山口市の維新みらいふスタジアムで開催されました明治安田生命J2リーグレノファ山口のホームゲーム（町田ゼルビア戦）におきまして，「美祿市サンクスデー」として美祿市観光課と美祿社会復帰促進センターが協力して無料のガラポン抽選大会とスタンプラリー，ユリの花のフラワーアレンジメントの展示を行いました。

ガラポン抽選大会には美祿市特産の「猫ちぐら」と「プチ猫ちぐら」，美祿デザインの小物入れ等の美祿社会復帰促進センターの受刑者（「センター生」といいます。）の皆さんが丁寧に製作した作品のほか，秋芳梨などを来場者にプレゼントいたしました。

他にもセンター生の皆さんが栽培した，美祿市のオリジナルブランドのプチシリーズのユリの花をフラワーアレンジメントにしてメインスタンド，バックスタンド及びゴール裏の入場口に展示し，レノファの応援に来られた皆様の癒しとさせていただきます。

今回はコロナ禍による入場制限の中でも2369名の観客動員があり，スタッフも感染防止対策を万全にした上での開催となりましたが，誠に盛況でありました。今年は残り試合も少なくJ1昇格は厳しい（なんとかJ2残留？）ところですが，来年こそはコロナも収束して大勢の応援の中でJ1昇格争いのレノファ山口の美祿市サンクスデーが開催できるよう祈念いたします。

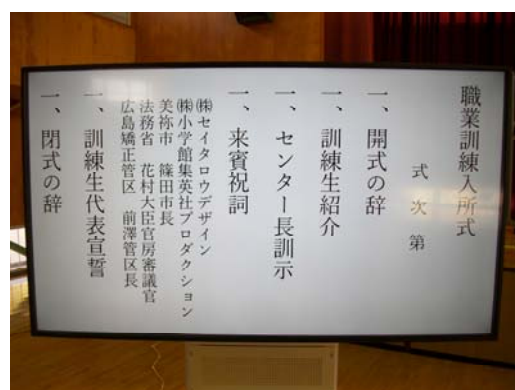


野菜収穫体験会2021

10月21日（木），センター敷地内の露地農場において，地域との共生のため豊田前保育園の園児9名と職員4名，宇部総合支援学校美祿分教室の児童5名と職員5名の計23名をお招きして野菜収穫体験会を開催いたしました！当日の天候は今にも降り出しそうな曇空でしたが，児童と園児の笑顔いっぱいの元気あふれる体験会となり，雨も降ることなく無事に終了しました。春からさつま芋を栽培していただいた（有）そのだ芸さんのご協力のおかげもあり，参加者の皆さんが芋をたくさん持ち帰ることができました。関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



職業訓練「販売戦略科」 ご紹介



株式会社 小学館集英社プロダクション

当センターでは様々な職業訓練を実施していますが、今回は令和3年11月12日（金）から開講となった職業訓練「販売戦略科」についてご紹介いたします。

この訓練は広告を制作する訓練を通して、販売戦略の仕組みを理解し、また関わる人の様々な想いを取り入れた写真やキャッチコピーの重要性を知り、実際の商品の魅力を伝えるスキルを身につけることを目的として実施されています。

開講初日の入所式には、美祢市長にもご参加と祝辞を頂き、また受講者8名の代表者が「この機会を活かし一生懸命努力します」と宣誓し決意を胸に訓練が開始されました。

講師には様々な媒体でデザインを手掛けるセイタロウデザイン様を迎え、専門的かつ実践的な内容を実施しています。

成果物として美祢市の特産品の広告ポスターを作成するため、今後美祢市にて広報用として活用いただく予定となっています。地域の皆様のお目にかかる日を私たちも楽しみにしています。



国民に理解され、支えられる刑務所へ

編集・発行

美祢社会復帰促進センター

<http://www.mine-center.go.jp/>

お問い合わせ先

〒750-0693

山口県美祢市豊田前町麻生下10番地

TEL：0837（57）5131

FAX：0837（57）5161